

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対しては十分なスペースを確保してあります。活動する場所と、必要に応じて学習室を活用して休んだり、クールダウンをしたりするスペースに分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数は適切な配置となっておりますが、時間帯によっては一時的に不足していることもあるため、職員間でフォローしあいながら安心・安全な支援を提供できるよう、体制を整えて参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関にスロープや手すりが無いため、見守りと付き添いをして、安全に移動ができるよう心掛けております。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、ミーティングを行い支援内容の見直し、改善に取り組んでいます。また、連絡ノートにて、職員全員が内容を共有できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、アンケートを実施し、日々の支援や業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			リニューアルされたホームページにて、公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		来年度以降に第三者委員会の設置を予定しており、業務改善のための評価を行って参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な社内研修行っています。また、外部の研修にも可能な範囲で参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方のご要望や児童の皆さんの現状に配慮し、盛り込んだ計画を作成しています。それを職員間で常時共有しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			自社のツールをもとに、令和2年6月以降からHUGのシステムの中で情報共有と発達段階の確認をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員がたたき案を各職員で話し合い、変更や改善を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新しい活動や内容を全職員で話し合うようにしています。また、行事予定表を作成し、皆さんが見通しを持てるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		放課後と休日、長期休暇時で目標や課題の設定に変化や配慮ができるようにしていきたいと思っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達段階や学校、関係機関での取り組みなどを参考にした活動を提供しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			平日はミーティングでその日の予定や担当、配慮事項などを全員で共有しています。休日には連絡ノートやHUGの記録などを活用して、周知を図っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎の関係から当日に全員の意見を確認することは難しいですが、翌日のミーティングや連絡ノート等で一人一人の気づきを振り返り、共有しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			なるべく詳細に記録を残しておくことで、経過を辿ったときの目標の達成度や改善点の明確化に繋がるようにしています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		概ね半年ごとに、職員同士でモニタリングや新たな計画の目標設定、見直しについて話し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		放課後等デイサービスのガイドラインの読み合わせを行い、基本活動を組み合わせさせた予定や支援に努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参加し、話し合われた内容を職員間でも周知しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎の際に連絡調整をしていますが、不十分だったことで、お迎えが遅くなってしまうことがありました。今後そのようなことが無いよう、必要な場合には電話でやり取りをして適切に調整を行っていききたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケア児に該当する方の受け入れはありません。ただ、発作や服薬等についての情報は保護者の方を通じて頂いております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援管理責任者が移行会議に出席したり、相談員や保護者の方と連絡調整をしたりしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		学校や相談員、事業所へ提供を求められた際にはスムーズな移行ができるよう努めております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		現在の所、十分ではないかもしれませんが、必要に応じて機関から助言をいただき支援に繋げるように致します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍の影響を考慮した上で、機会があれば交流が行えるように検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		必要に応じて参加し、地域の連携を深めていきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に様子をお伝えをしたり、ご都合や内容によってHUGやお電話にて対応をしたりさせて頂いております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		支援の中での成功、失敗例を挙げて、家庭での実践に繋げてもらえるような働きかけを職員で話し合い、お伝えしています。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や計画の見直しの時などに児童発達支援管理責任者から説明を行い、改定や変更があった際には随時、お伝えさせて頂いております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談を頂いた際には、職員で話し合いをし、保護者の方の困り感やお悩みに寄り添った助言ができるように努めております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		コロナ禍の中で開催は難しい状況ではありますが、今後も状況を見て保護者会や、違った形での連携支援を検討していききたいと思います。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の体制（研修や記録等）を整えて、適切な対応と改善に向けた検討、職員間で共有を心掛けております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、行事予定を配布しております。新しいホームページやHUGの中でも、行事のお知らせや活動の内容もお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のついたロッカーで個人情報に関する書類等を保管しています。今後も取り扱いに十分注意して参ります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に合わせて図や文字、サインやジェスチャーでの視覚的な伝達に配慮しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		系列店との合同行事を行うことはありましたが、地域の方との交流、招待は行えておりません。今後は状況を見て検討いたします。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時や面談時に説明を行っています。玄関にマニュアルの一覧があり、いつでも閲覧できるように致しました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行っています。（火災、水害、地震、不審者）
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、研修の実施や、日頃のチェックを習慣化し、未然に防げるように努めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			危険要因がある場合には、契約時や面談時に必要な理由を説明し同意を頂いております。また、実施した際には記録に残すことを徹底してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師からの指示書は頂いておりません。ご家族からの情報をもとに緊急時の与薬、坐剤が必要な方には同意書にサインを頂いております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例について検討会を開き、職員間で共有することで再発防止に努めております。